5 職員研修で実施した町民インタビューの結果

5 職員研修で実施した町民インタビューの結果

本章では、中頓別町役場の若手職員で結成されたWGメンバーによる職員研修で実施した町民インタビューについて記述する。

5-1 町民インタビューの概要

令和2年1月17～20日,2月4～9日に、若手職員で結成されたWGメンバーは、中頓別町の魅力や資源を再発見するため、町民計25人にインタビューを実施した。インタビューに協力いただいた町民の概要は表21に示した通りである。

表21. インタビューに協力いただいた町民

テーマ	肩書き・所属	氏名
自然・環境	森林組合	峰友 武さん
	林業・炭焼き	岩田 利雄さん
	砂金掘り名人	姉歯 和男さん
	猟師	山下 徹さん
仕事・観光・産業	スクールバス運転手・賃貸経営など（細谷建設）	水野 秀洋さん
	そうや自然学校	北川 直樹さん
	中野商店	中野 巧都さん
	ライドシェア（専念寺）	藤田 朋美さん
	Cina Duex	大橋 七恵さん
	佐藤牧場	佐藤 秀樹さん・和希さん
健康・医療・福祉	天北厚生園総合施設長	千葉 辰雄さん
	カゴ作り名人	米田 秀実さん
	エアロビ（バスターミナル）	越智 愛子さん
	農家	渡辺 泰夫さん・美喜子さん
子育て・教育	黄金湯・トントン	渡辺 由起子さん
	ひよっこクラブ	田邊 奈月さん
	ツリーハウス（細建）	細谷 陽一さん
	図書室	松田 留美さん
	絵本の読み聞かせボランティア	太田 美千代さん・伊藤 智子さん
	ＡＬＴ	パショーン・ダリン・ヒデオさん
	脱出ゲームなど（郵便局員）（高校生）	小倉 弘さん・麗央さん

5-2 町民インタビューで得た意見

町民 25 人へのインタビューから出た意見及びアイデアを、「資源・魅力だと感じていること」（表 22）、「課題だと感じていること・こうなったらいいと思うこと」（表 23）に分けて一覧としてまとめた。

表 22. 資源・魅力だと感じていること

テーマ		意見 （資源・魅力だと感じていること）
環境	自然	・中頓別町の木は町外の木より 2 割程度サイズが大きい。 ・自然に恵まれている。
	楽しみ	・1 千万年前と 1 億年前の化石が一緒に採れる場所がある。中頓別は、１億のスパンの中で遊べる。 ・夏は、気軽に川釣りが楽しめる。 ・砂金堀りが楽しめる。 ・川や森の距離感がいい。見ているだけで癒される。 ・渓流の宝石と言われるほどきれいな川がある。 ・1年中、野鳥と出会える。 ・町内の農家さんの牧草地を眺めながら、カヌーに乗れる。 ・冬は、バックカントリーに適している。
しごと	働き方	・休みと仕事の区別がないほど、好きなことを仕事にできる。 ・新しい事業を始める上で失敗を受け入れる環境が整っていた。 ・新しい仕事を始めやすい。
生活環境	I ターン U ターン	・色々な人が「遊びにおいで、ご飯を食べにおいで」と誘ってくれるため、町にすぐに馴染めた。 ・みんなフレンドリーで温かい。
	情報発信	・町の情報が入ってくる。
保健医療福祉	医療	・子どもの医療費無料がとても助かっている。
	福祉	・保健師さんの対応が丁寧で、福祉が充実している。
安全安心	つながり	・顔見知りの関係。町に誰が住んでいるかわかるのは安心。
子育て・教育	子育て	・地域のみんなが子育てに関わってくれるため、子育てしやすい。 ・新しいお母さんを迎え入れてくれる。 ・中頓別の子どもたちは、とても素直で優しい。
	教育	・中頓別の子どもたちはいきいきしている。 ・子どもたちが異文化や英語に興味があり、好奇心が旺盛。 ・ハワイ研修での経験が自信につながっている。

表 23. 課題だと感じていること、こうなったらいいと思うこと

テーマ		意見 （課題だと感じていること、こうなったらいいと思うこと）
しごと	林業	・子どもたちに林業が第一次産業と認識されていない。 ・地場の資源を地場で加工して消費することが理想。
	働き方	・70代以降でも働ける環境があるといい。
観光	つながり	・将来的にはアウトドア体験で稼ぎたい。 ・宿泊施設や飲食店など、町の人たちと連携したい。
	場づくり	・若者が集まれる場所がない。
生活環境	買い物	・町内でオムツが買えないことが不便。
	インフラ	・町中に光ネット通信の整備が進むといい。 ・ネット環境が整備されることで働き方の選択肢が増える。
	I ターン U ターン	・お試し住宅を増やしてはどうか。
	交通	・公共交通機関が減っていくのが寂しい。 ・ライドシェアは、若い人が使いづらいのが現状。若い人に使ってもらえるような仕組みが必要。 ・ライドシェアが根付くためには事業化できるかどうか。 ・ライドシェアのドライバーを若い世代に引き継ぎたい。 ・ライドシェアやシェアスペースのように選択肢を増やすことで中頓別の魅力を高めたい。 ・誰もがドライバーとして、運転できないが移動したい人を乗せられるようなまちにしたい。
保健医療福祉	福祉	・障害者福祉の理解が進んでいない。
	医療	・小児科が遠い。 ・医療体制が不安。
安全安心	つながり	・誰もが「おかげさま」で暮らせる町になればいい。 ・若い人たちにまちづくりに関わってほしい。 ・地域コミュニティが、世代を横断して交流できるといい。
子育て・教育	場づくり	・中学生が勉強する部屋がないため、勉強スペースを作りたい。 ・塾がない。学力を伸ばす教育を考えてほしい。 ・子どもを育てる横の連携が薄い。 ・図書スペースに、カフェや子どもが遊べる空間があるといい。 ・親子で料理を楽しめる機会があるといい。
	高校	・家から通える高校がなくなったら、子どもの数がさらに減ることを危惧している。

5-3 まとめ

本章では、中頓別町役場の若手職員で結成された WG メンバーによる職員研修で実施した町民インタビューで得られた意見についてまとめた。インタビュー対象者は、主に町内で何らかの活動をしていたり、中頓別町の資源を日常に取り入れて生活を送っている人たちであった。今回の町民インタビューは、映像として記録し、動画を作成した。

動画の導入

職員研修の紹介

町民インタビューに行く様子

町民インタビュー実施の様子①

町民インタビュー実施の様子②

町民インタビュー実施の様子③